

ブラジルへの輸出促進、日本食普及の取組

2023年3月

ジェトロ・サンパウロ事務所

○ブラジル概況

○和牛・精米

○日本酒

○その他、その他課題

ブラジルとは？

社会	面積	851万5,767km ²	世界第5位、日本の約22.5倍
	首都	ブラジリア（連邦直轄区）	
	言語	ポルトガル語	
	宗教	主にカトリック教	
政治	人口	2億1,483万人（2022年）	世界第6位。米国の2 / 3
	非識字率	6.6%（2019年）	
	政体	連邦共和制	
	元首	ルイス・イナシオ・ルーラ・ダ・シルバ大統領	
	議会制度	二院制（上院81議席、下院513議席）	

経済規模	GDP総額	8兆6,795億リアル(2021年)	世界第13位。日本の3割弱。オーストラリア12位とイラン14位の中間。
リスク	ソブリン格付	Moody's (Ba2)、S&P(BB-)、Fich(BB-)	BRICSでは最も低い。トルコとベトナムの中間

対日関係	対日輸出額	5,535（100万米ドル）9位(21年)	
	対日輸入額	5,146（100万米ドル）8位(21年)	
	対日投資額	554（100万米ドル）16位(21年)	
	在留邦人数	4万8,703人	
	日系ブラジル数	約200万人（推定）	対世界の約半分。世界最大の日系移民コミュニティが存在。
	在日ブラジル人数	約20万6,365人（2021年6月）	
	日系企業数	648社（日系人が興した会社含む） 474社（進出日系企業）	進出日系企業数： 世界全体の0.81% メルコスール全体の62%

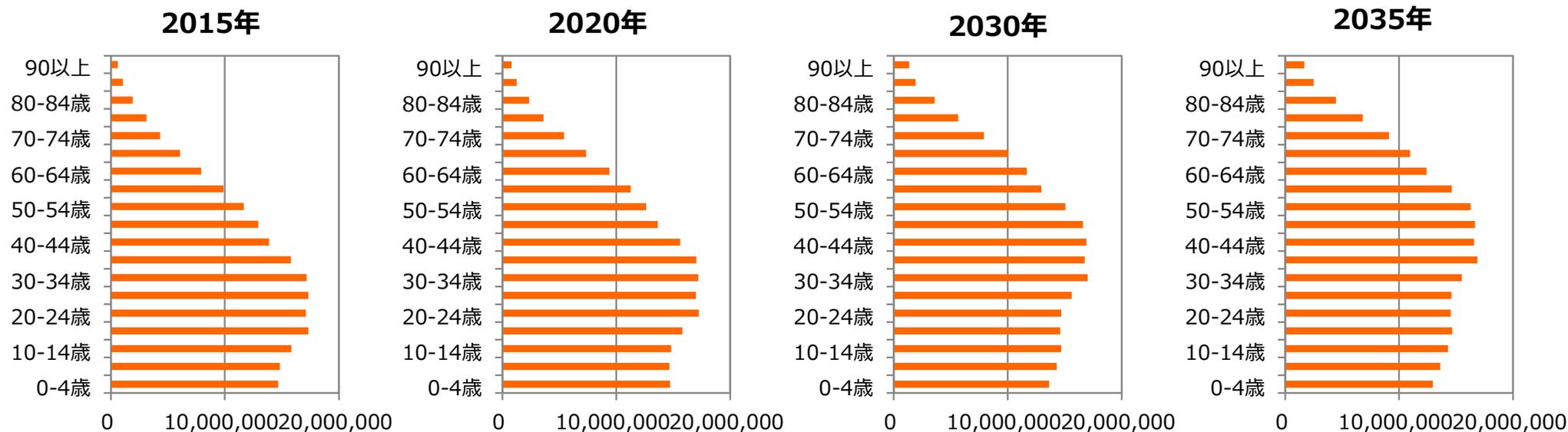


（写真）ルーラ大統領公式サイト

人口の推移・見通し

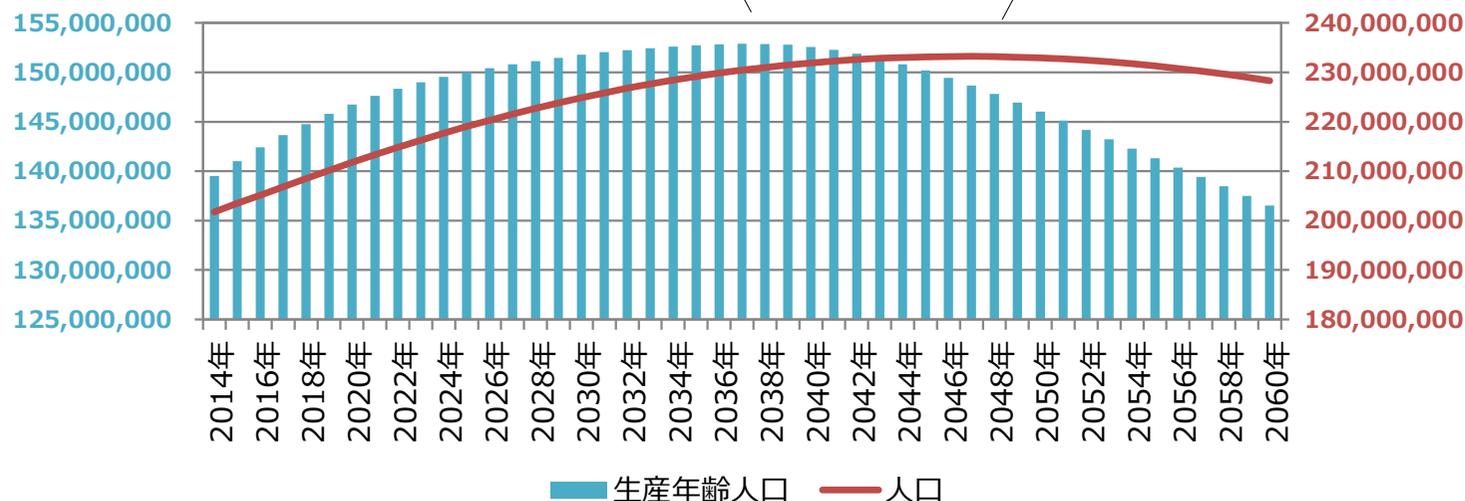
人口ボーナスは2038年まで続く

人口構成



生産年齢人口ピーク：
2038年：1億5,289万人

人口ピーク：
2047年：2億3,323万人



2022年
(2018年時の見通し)

出生率 (合計特殊出生率※) 1.75人

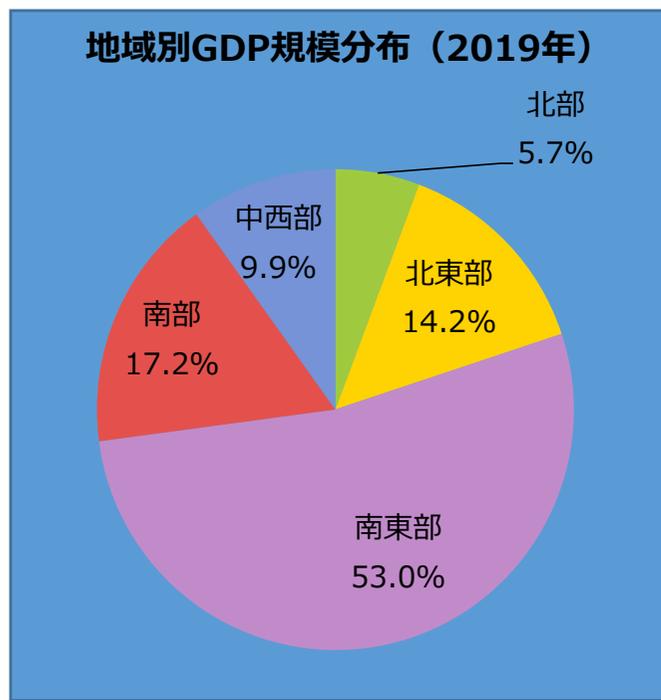
平均寿命：77.19歳

女性：80.67歳
男性：73.74歳

※一人の女性が一生に産む子供の平均数

ブラジル基本データ

ブラジルは、全国を5つに区分しており、そのうち、サンパウロ州やリオデジャネイロ州が含まれる「南東部」がもっと発展しており、人口も集中している。



出所：商工サービス省(MDIC)、ブラジル地理統計院 (IBGE)

ブラジルの所得層

階層 クラス	平均賃金月額 (リアル) (円)	ブラジル全土	9都市平均 階層別割合	サンパウロ
A	21,826.74 (約440,681円)	2.9%	6.7%	6.7%
B1	10,361.48 (約209,198円)	5.1%	8.0%	9.2%
B2	5,755.23 (約116,198円)	16.7%	21.0%	25.8%
C1	3,276.76 (約66,157円)	21.0%	21.4%	25.5%
C2	1,965.87 (約39,690円)	26.4%	24.3%	23.0%
D-E	900.60 (約18,183円)	27.9%	18.6%	9.8%
合計	3,383.06	100.0%	100.0%	100.0%

※9都市

SP:サンパウロ州 (サンパウロ)
RJ:リオデジャネイロ州 (リオデジャネイロ)
BSB:連邦直轄区 (ブラジリア)
POA:リオデグランドスル州 (ポルトアレグレ)
CWB:パラナ州 (クリチバ)
BH:ミナスジェライス州 (ベリオリゾンチ)
SSA:バイア州 (サルバドル)
REC:ペルナンブコ州 (レシフェ)
FOR:セアラ州 (フォルタレザ)

(注1) 最低賃金1,100リアル (約22,200円程度) (2021年1月時点)、1リアル=20.19円で換算 (2021年平均)。

(出所) ABEP -Associação Brasileira de Empresas de Pesquisa (ブラジル調査企業協会) CRITÉRIO BRASIL 2022
の調査データを用いてジェトロ作成

牛肉（和牛）・精米

- 牛肉（和牛）は2019年より輸入、2022年は52万ドル（前年36万ドル、前年比144%）に輸入拡大。
- 牛肉（和牛）の購買層はA～B1層（1700万人程度）、新規サプライヤーの存在
- 官民連携により精米の輸出規制（含水率、くん蒸処理）に対応
- 日本食レストランは1300店舗（推定）、高級日本食レストランでの需要有り（海外産ジャポニカ米が競合）



- 7月15日～17日県連主催「第23回日本祭り」18万人来場
- 消費拡大、受容性調査を目的に試食セミナーを実施
- アンケート調査を実施
 - 79%「今後も和牛食べたい」
 - 高所得者（A層）の6割が100gの和牛をR\$100以上の価値と評価
 - 95%「日本産米を食べたい」
 - 高所得者の23%は5kgにR\$100以上の価値と評価



- 7月日本食レストランでの和牛プロモーション
- 著名なレストランシェフ、高級ホテル関係者などを招待
- 日本産和牛と外国産の違い、食べ方提案、和牛が高価な理由など説明
 - 料理方法などで素材を生かすアイデアを得た
 - 和食以外の料理もあり。
 - ホテルのレシピへの採用の検討



- 12月～1月日本食レストラン6店舗と連携した精米の受容性調査を実施
- 有効回答数：1003件
 - 94%「日本産米を食べたい」
 - 回答者の半数以上は非日系
 - 8割が所得5千リアル以上
 - いつものご飯と違うと、違いを感じる方も存在
 - ブラジルで販売されているなら購入したい



- 各州都（リオデジャネイロ、レシフェ、クリチバ、マナウス）総領事館と連携して和牛・精米の試食セミナーを開催
- 各州都での受容性調査実施
 - 和牛の格付け、血統書や育成など高価な理由がわかった
 - 赤身の多い肉でもブラジルでの可能性を感じた。レストラン展開が重要ではないか。
 - 精米の味の違いに驚愕、販売価格次第か。

- 牛肉（和牛）は新規加工処理施設の早期認定、レストラン等の和牛シェフの育成
- 精米はプライスマーケティングが重要。（※取組をキッカケに各県より輸出希望あり）

日本酒・泡盛

- 2022年も過去最高輸出額を更新で1億7,828万円(前年1億5,203万円、前年比117%)に輸入拡大。
- 輸入数量は2019年24万ℓから4年で34万ℓ(40%増加)、統計上での単価は1ℓあたり、2019年479円、2022年518円と高額商品も増加と推察。
- 日本食レストランの顧客層を鑑みれば、購買層はA~B1層(1700万人程度)がメインだが、B2層(3500万人)も対象となりうる。



- 10月25日~11月1日
ABGJ(和食協会)主催
「和食WEEK」開催
- 日本文化の発信拠点である
ジャパンハウスにて日本酒プ
ロモーションを実施



- 南部ポルトアレグレ、北部ベ
レンにてアレシャンドレ飯田氏(南
米唯一の酒サムライ)による日本
酒試飲セミナーを開催
→日本酒を知るキッカケである
セミナーは重要。日本酒の知識
が少ない。
→豊富な酒類を扱う店舗を増
やしてほしい。
→日本食以外のコラボに期待

- 10月泡盛試飲セミナー開催
- 泡盛と相性の良いブラジルの
材料を活用したレシピを専門
家が考案
- 参加者は、バーソムリエ、ホ
テル、レストラン関係者など
→参加者の6割が泡盛を認知
→市場に合わせたプライス
マーケティングが重要

- 消費者に向けた認知度向上セミナーの継続が肝要である中、レストラン等で消費者向けに日本酒説明
が可能な酒ソムリエが増加している。酒ソムリエとの連携した取組も重要。
- 泡盛の普及には認知度向上に加え、市場にある蒸留酒(カシャッサなど)との差別化、泡盛の特性を生
かしたマーケティングが重要。

その他・その他の課題

○水産(ブリ)、水産バイヤーの発掘調査、商談組成

- 21年テスト輸入、22年上半期販売開始
- 23年2月下旬プロモーション

○アルコール飲料の法律改正への対応

- 農業畜産供給省(MAPA)は、2022年4月14日付に、「飲料の標準化、分類、登録、検査、製造、取締を規定する法律第8.918/1994号」の施行規則の草案を公聴会に付託するSDA省令第562/2022号を掲載。
- 大使館、総領事館、和食協会、ブラジル輸入業者、農業畜産供給省(担当者レベル)と複数回の関係者会議。
- 現状と法改正後の情報整理を踏まえ、ブラジル輸入業者パブリックコメント提出。
- 法改正のタイミングは現時点で示されていない。

○ショールーム事業への参画

- 22年度中南米で初めて日本産食品のショールームをJETROサンパウロ事務所内に設置。
- 23年2月15日～3月10日ブラジルで流通している商品を展示し、多くはレストラン、小売のバイヤーを招待

○通関での農業畜産供給省(MAPA)検査官のチェックのシステム化による弊害

- システム化により、円滑に通関手続きが進むケースもある一方で、日本産食品の知見が豊富なサントス港以外の検査官のチェックにより、想定外の確認があり、通関に時間を要する事態もある。
- 農業畜産供給省も認識しており、そのための対応として、例えば、特定品目に対しては一部の担当者をあてるなど、知見の蓄積をもとに迅速化を図るとのこと。

○賞味期限の課題

- 食品のフードロスや輸入業者、レストラン、小売部門の多大なリスク。特にブラジルでは様々な理由で通関時に遅延が起こりうる。
- 食品衛生上の観点から合理的かつ客観的な指標に基づくものであるが、食品の特性に応じて海外との比較を踏まえて信頼性・妥当性を勘案の上、可能な範囲で期限の延長が望まれる。

ジェトロの情報サイト

食品に関する情報・動画も随時発信しております！ニュース性あるものは「短信」・テーマを絞ったレポートは地域分析レポートとして、「食」に関する情報もご案内します！

◆JETRO公式HPブラジル

◆JETRO公式Youtube



[アクセス先はこちらへ](#)

[アクセスはこちらへ](#)

◆市場調査・食品に関するご相談はこちらもご利用ください！

[食品の輸出に関するポータルサイト](#)
農林水産・食品分野による
輸出相談サービス

[詳しくはこちら↓](#)

ジェトロサンパウロ事務所

Alameda Santos, 771 Primeiro Andar, Jardim Paulista, CEP 01419-001,

São Paulo -SP, BRASIL

TEL : 55-11-3141-0788 Eメール : infosao@jetro.go.jp

ビジネス情報サイト https://www.jetro.go.jp/world/cs_america/br/

ポルトガル語 <https://www.jetro.go.jp/brazil/>

FACEBOOK <https://www.facebook.com/JETROSaoPaulo/>

<https://www.facebook.com/JETROSaoPaulojp>

インスタグラム https://www.instagram.com/jetro_saopaulo/

https://www.instagram.com/jetro_saopaulojp/

YouTube https://www.youtube.com/channel/UCi3YUmnWN0_nOIJ0d4xBoqg

法務税務、食品等に関する相談

https://www.jetro.go.jp/jetro/overseas/br_saopaulo/platform.html



ありがとうございました！ Obrigado!

Desde 1955 no Brasil

ジェトロ・サンパウロ事務所

Alameda Santos, 771 Primeiro Andar, Jardim Paulista,
CEP 01419-001, São Paulo -SP, BRASIL

[E-mail:infosp@jetro.go.jp](mailto:infosp@jetro.go.jp)

[TEL:55-11-3141-0788](tel:55-11-3141-0788)

FAX:55-11-3253-3351

Facebook : <https://www.facebook.com/JETROSaoPaulo/>



【ご注意】

本日の講演内容、資料は情報提供を目的に作成したものです。

資料作成にはできる限り正確に記載するよう努力しておりますが、その正確性を保証するものではありません。本情報の採否はお客様のご判断で行ってください。

また、万一不利益を被る事態が生じましてもJETROは責任を負うことができませんのでご了承ください。